

令和4年度（2022年度）採用 日本学術振興会 特別研究員 申請・書き方ガイダンス

2021年4月
立命館大学大学院課

Agenda

第1部

日本学術振興会特別研究員制度の趣旨・概要

1. 特別研究員制度とは何か
2. なぜ多くの人が挑戦するのか
3. 難易度はどのくらいか
4. どのように申請するのか（申請書作成の留意点）

第2部

特別研究員申請書 書き方講座

特別研究員申請書作成に絶対押さえておくべきポイントを解説。
講師：安田 裕子先生（総合心理学部教授）

特別研究員採択者による体験談

申請書の書き方や採択されるためにすべきこと

1. 特別研究員制度とは何か？

3

1. 特別研究員制度とは何か？

通称：学振（ガクシン）

学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者を育成するため、優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題・研究の場を選びながら研究に専念する機会を与えるとともに、研究奨励金を支給する制度

4

1. 特別研究員制度とは何か？

学振には、4つの区分があります。

区分	対象	採用者全体 (令和2年度)	新規採用数 (予定)※
DC 1	大学院博士課程在学者	4196名	約700名
DC2			約1100名
PD	博士の学位取得者	1000名	約350名
RPD	博士の学位取得者のうち 出産・育児による研究中断者の復帰支援	214名	約75名

出典：日本学術振興会主催「令和4年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

※採用人数は、予算の状況により変更されます。

毎年1万人以上の大学院生・博士号取得者が申請しています。



2. なぜ多くの人々が挑戦するのか？

2. なぜ多くの人が挑戦するのか？

経済的な支援を受けることができる

将来のキャリア獲得の近道になる

7

2. なぜ多くの人が挑戦するのか？

経済支援(研究奨励金)が受けられる*

	月額	年額換算	受給期間
D C	20万円	240万円	DC1:3年間 DC2:2年間
P D	36.2万円	434.4万円	3年間
R P D	36.2万円	434.4万円	3年間

* 予算の状況により変更される可能性あり

上記に加えて・・・

- 科学研究費補助金（特別研究員奨励費）が使える
毎年度150万円以内※別途申請が必要
- (RPD) 出産・養育に伴う支援が受けられる
(採用の中断・延長・研究再開準備支援)

さらに・・・

(D Cのみ) 採用期間中は、授業料相当額の奨学金(研究奨励S奨学金)を大学から給付されます。※休学中除く

研究への専念/院生時代から研究マネジメントの経験ができる

8

2. なぜ多くの人が挑戦するのか？

将来のキャリア獲得の近道(特別研究員の就職状況)

DCの「常勤の研究職」への就職状況

直後(令和元年度終了者) * 常勤職の研究職・ポスドクフェロー	64.5%
1年経過後(平成30年度終了者) * 常勤職の研究職・ポスドクフェロー	76.3%
5年経過後(平成26年度終了者) * 常勤職のみ	72.2%
10年経過後(平成21年度終了者) * 常勤職のみ	87.7%

PDの「常勤の研究職」への就職状況

直後(令和元年度終了者)	66.9%
1年経過後(平成30年度終了者)	75.7%
5年経過後(平成26年度終了者)	86.3%
10年経過後(平成21年度終了者)	93.8%

国からお墨付きを受けた研究者となる

9

2. なぜ多くの人が挑戦するのか？

注意点：遵守事項による制約も生まれます

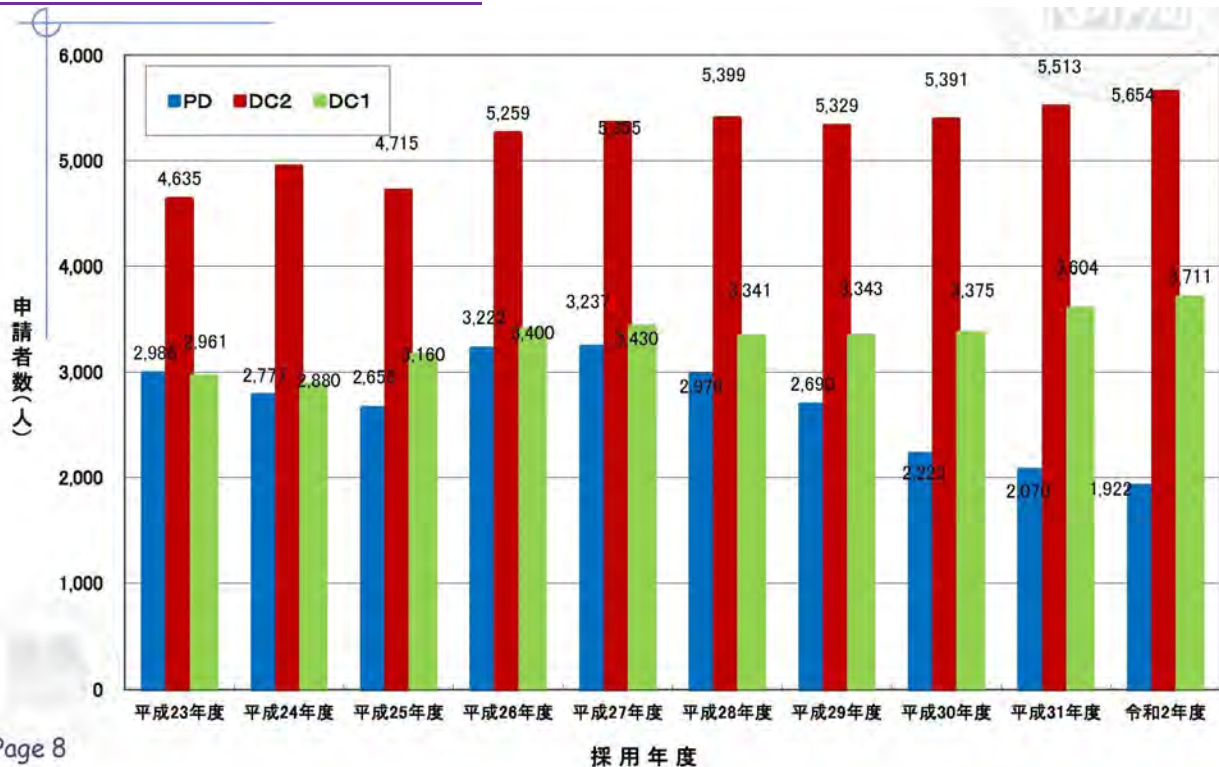
- ①特別研究員以外の身分を持つことができない
(一部例外あり)
- ②原則、他のフェローシップを受けることができない
(条件を満たせば、受給できるものもある)
- ③特別研究員と日本学術振興会との間に雇用関係がない。
(社会保障や年金など各自で対応が必要)
- ④諸手続が煩雑(何をするにも届出が必要)
資格確認、海外渡航、研究報告など

3. 難易度はどのくらいか？

11

3. 難易度はどのくらいか？

1) 全国の申請者数の推移



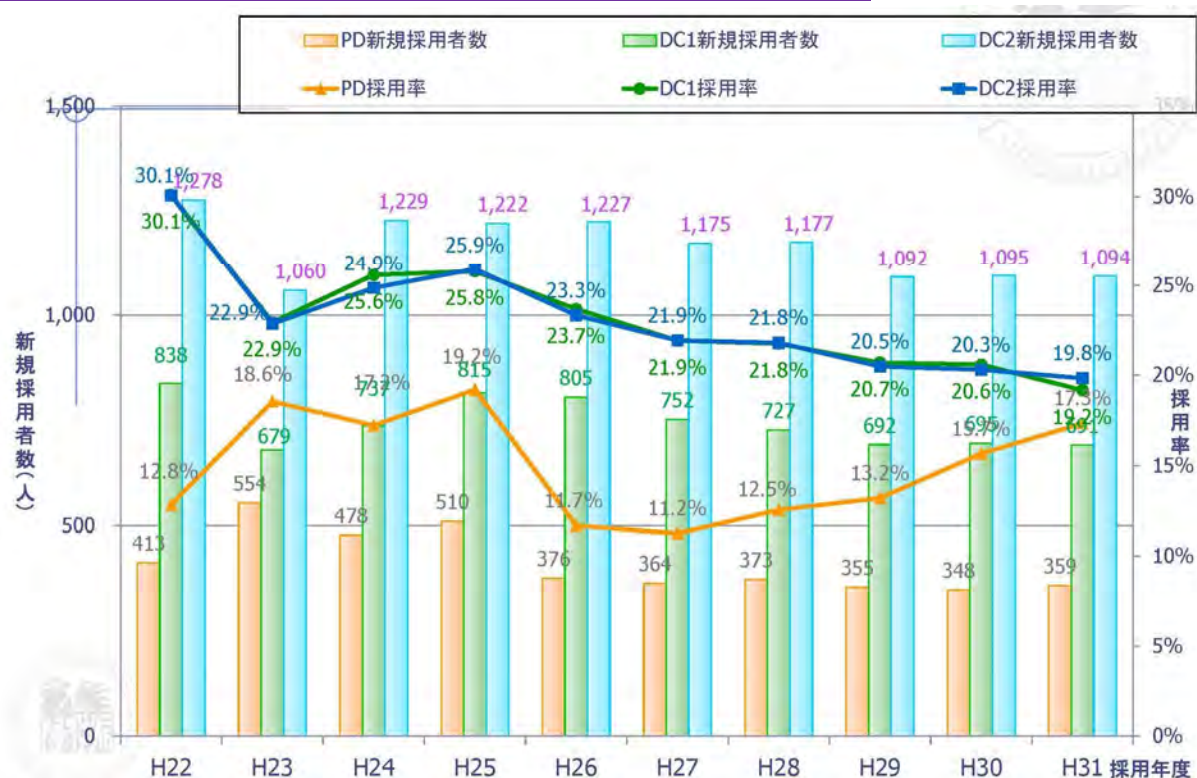
Page 8

出典：日本学術振興会主催「令和3年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

12

3. 難易度はどの程度か？

2) 特別研究員の新規採用者数と採用率の推移



出典：日本学術振興会主催「令和3年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

13



4. どのように申請するのか？

4. どのように申請するのか？

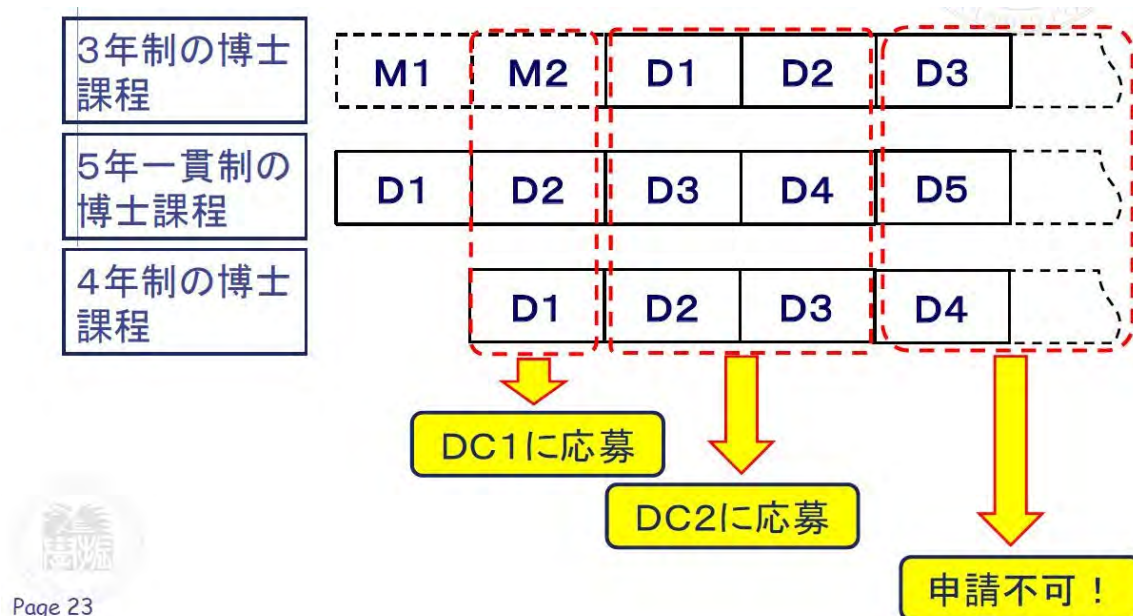
1) 申請資格を確認する 2022.04.01現在に以下の資格を有していること

【DC1】	・博士課程後期課程 1回生 ・一貫制博士課程 3回生 ・4年制博士課程 2回生	留学生も申請可能 ただし、英訳資料はないため 日本語能力がサポートが必要
【DC2】	・博士課程後期課程 2-3回生 ・一貫制博士課程 4-5回生 ・4年制博士課程 3-4回生	
【PD】 右の①～③を 全て満たす者	①博士の学位を取得後5年未満 (申請時においては見込みでも可) ②受入研究機関の選定 博士課程在学時の所属研究機関とは別の研究機関であることが必要 ③国籍 日本国籍、または日本に永住を許可されている外国人	
【RPD】 右の①～③を 全て満たす者	①博士の学位を取得(見込)している者 ②次のいずれかに該当する者 1. 申請年度4月1日時点で未就学児を養育しており、その子の出産・育児のため、 2014年10月1日から2021年3月31日の間に3ヶ月以上研究活動を中断した者 2. 出産又は疾病や傷害のある子を養育したため、2016年4月1日から2021年3月 31日の間に3ヶ月以上研究活動を中断した者 ③日本国籍、または日本に永住を許可されている外国人 ※令和3年度採用特別研究員PDとの併願可能。重複採択された場合は、いずれかを辞退。 ※博士課程在学時の所属研究機関とは別の研究機関を選定することを推奨。	

15

4. どのように申請するのか？

DCの申請時の在学年次と応募資格(イメージ)



4. どのように申請するのか？

手順①申請機関に電子申請に必要なIDの発行を依頼する

【申請機関とは】

- ・ P D ・ R P D ・ D C 2 ⇒ 受入予定の機関（大学）
本学以外に進学する方は、受入先に依頼してください
- ・ D C 1 申請者の場合⇒ **現在在学する（又は出身の）大学**

H26年度以降に立命館大学でIDを発行している場合は、その時発行したIDを使用して下さい。

【ID発行】

申請機関にて発行するIDが必要

⇒「令和4年度採用日本学術振興会特別研究員電子申請ID発行依頼書」の手続きが必要

http://www.ritsumeai.ac.jp/ru_qr/q-career/fellow/doctor/article.html/?id=39

注1：氏名は戸籍名にて申請。外国人の場合は「在留カード」に記載の氏名



- ①申請は、申請機関で集約してまとめて申請します。
※個人から直接、日本学術振興会に提出ではありません。
- ②必要書類はすべて電子申請で手続きします。
※紙媒体は廃止になりました。

17

4. どのように申請するのか？

手順②電子申請システムにログインして、申請書類を作る

【電子申請システム】

以下のページからログインのうえ申請を行う。

<https://www.yousei.jsps.go.jp/yousei1/shinsei/index.html>



申請機関から発行されたIDとパスワードでログイン

【操作方法がわからない時】 申請者向け操作手引きを参照

<http://www-shinsei.jsps.go.jp/topyousei/download-yo.html#a2>

18

4. どのように申請するのか？

手順②電子申請システムにログインして、申請書類を作る

種類	名称	内容・作成方法
a.	申請書情報 (A 4判2頁)	学歴・研究課題等を記載したもの。 <u>→電子申請システムに直接入力。</u>
b.	申請内容ファイル (A 4判7-9頁)	研究計画・研究業績等を記載したもの。 <u>様式を日本学術振興会HPよりダウンロードして作成</u> <u>→WEB取込</u>
c.	評価書	⇒申請者より評価者へ、電子申請システムを通じて作成依頼 <u>DC : 1名 PD : 2名</u>

【評価書における注意点】

評価者が入力し終えないと申請ができません。申請者情報を入力していれば依頼できますので、申請内容ファイルを完成前に、評価をお願いする方には早めに依頼しましょう。

19

4. どのように申請するのか？

注意点①: 評価書作成(全員が必須)のスケジュール管理

①必要な評価者の数

DC : 1名 (現在の研究指導教員)

PD : 2名 (1名は受入研究者)

②【重要】評価者への評価書作成依頼について

- ・ 評価者が電子申請システム上で評価書を作成しなければ、申請者はシステム上、申請できません。
- ・ 電子申請システム上で申請者より評価者に依頼する必要があります。遅くとも、**5月6日までに依頼を行ってください** (評価者が記載する時間を確保するため)。

※ **RPDは4月23日までに依頼**

⇒その他、詳細については申請書作成要領 (P54以降)を参照

申請者情報を入力して、先に評価者に作成を依頼しましょう。 20

4. どのように申請するのか？

注意点②:学内の申請スケジュールに遅れないこと

時期	内容
4月16日（金）	電子申請 I D発行申請〆切
	電子申請 I D、順次配布 配布方法：メール送付
4月19日（月）～ 5月9日（日）23:59	【RPD】学内申請期間 ※締切厳守
5月17日（月）～ 6月1日（火）23:59	【DC1/DC2/PD】学内申請期間

21

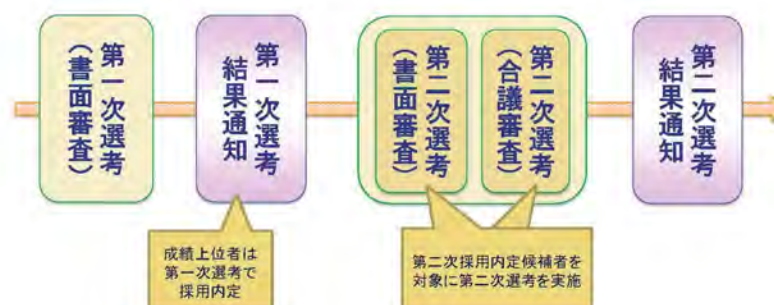
4. どのように申請するのか？

昨年度からの変更点【書式】

①2次審査が再度の書面審査になりました
2021年度採用でコロナの関係で面接が中止となり、再度の書面審査になりました。

令和4年度(2022年度)採用分特別研究員-PD、DCの新たな審査の流れ

第一次選考の合格者のうち、第二次採用内定候補となった申請者を対象に、第二次選考を実施します。
※第二次選考では、これまで行っていた「面接審査」に変わり、申請書による「書面審査及び合議審査」を実施して選考を行います。



22

4. どのように申請するのか？

昨年度からの変更点【書式】

②申請書の項目と様式が大幅に変更になりました。

令和4年度(2022年度)採用分特別研究員募集に係る申請書様式の見直し

申請者の研究遂行力について、単に「研究業績」を列挙するのではなく、申請者の研究遂行力を自ら分析し、研究に関する自身の強み等を記入する項目(「研究遂行力の自己分析」欄)とすることで、申請者の研究者としての資質や将来性についてより重点を置いて評価できるよう項目を改めました。
また、「研究計画」について、各項目を細分化して記入する方式から、まとめて記入できるようにする方式に改めました。

【前年度までの申請書の各項目】

○申請書情報・申請内容ファイル

1. 申請者情報等
2. 現在までの研究状況
3. これからの研究計画
 - (1) 研究の背景
 - (2) 研究目的・内容
 - (3) 研究の特色・独創的な点
 - (4) 研究計画
 - (5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応
4. 研究遂行能力
5. 研究を志望する動機、目指す研究者像、アピールポイント等(DCのみ)

○評価書

○特例措置希望理由書(PDのみ)



【今年度の申請書の各項目】

○申請書情報・申請内容ファイル

1. 申請者情報等
2. 研究計画
 - (1) 研究の位置づけ
 - (2) 研究目的・内容等
3. 人権の保護及び法令等の遵守への対応
4. 研究遂行力の自己分析
 - (1) 研究に関する自身の強み
 - (2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素
5. 目指す研究者像等

○評価書

○特例措置希望理由書(PDのみ)

23

4. どのように申請するのか？

昨年度からの変更点【書式】

②申請書の項目と様式が大幅に変更になりました。

申請者に求められるもの(申請書作成にあたって特に留意いただきたい点)

【研究計画】欄

「研究の位置づけ」の記入にあたっては、自身の研究計画だけでなく、当該分野の状況や課題等の背景、当該研究計画の着想に至った経緯も含めて記入

【研究遂行力の自己分析】欄

- ・ 我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保という特別研究員制度の趣旨を踏まえ、自身を十分に分析して「研究に関する自身の強み」等を記入
- ・ その際、「研究業績」を記入する場合は、単なる成果物(論文等)の列挙のみとするのではなく、それらも踏まえた自身の強み等を記入

24

4. どのように申請するのか？

注意点③: 申請内容ファイル作成留意事項

【大原則】

- ・ 記載欄の縮小・拡大・追加厳禁
ダウンロードしたときの各記載欄の幅を維持
- ・ 様式各記載欄の前にある指示を厳守
様式には各欄に何を記載するか具体的な指示がある
斜体で示された説明文は削除するのを忘れずに
- ・ (D C) 学内奨学金の採択状況も記載
「申請内容」の「研究遂行能力の自己分析」に記載して積極的にアピールする。
(例：研究奨励奨学金A（所属研究科の全在学者数数の5%に給付）)

25

4. どのように申請するのか？

注意点③：申請内容ファイル作成留意事項：

【研究遂行力の自己分析パート】

(例) 学術論文（査読の有無を明らかにしてください。
査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）
著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載
してください。

(例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明
らかにしてください。）
著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を
記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し
込みが受理されたものは記載してもよい。）

- ・ 査読中・投稿中・発表予定のものは記載不可

26

4. どのように申請するのか？

注意点③: 申請内容ファイル作成留意事項: 提出前の総点検

1. 書体の統一：特に英数字
 - 明朝なら明朝で、CenturyならCenturyで統一すること。
 - 記載項目、あるいは段落で書体が違うことが多い。
2. 色を使うのならば、意味・カテゴリーを考えて
 - 色の使い分けの意図が、審査員に伝わるよう工夫をすること。
 - モノクロ（グレースケール）で印刷のうえ、審査される。
3. 「その」「それ」などの指示語は避け、示す内容を明記しましょう。
4. 文献の表記方法は、所属学会・学内の紀要、あるいは『社会学評論』（人文社系専攻）に則って書きましょう。
5. 共著論文・共同報告は、論文・学会大会要旨集に掲載された順番で記載しましょう。
6. 研究計画書は、先輩・同輩に一度は読んでもらい、アドバイスをもらいましょう。

27

4. どのように申請するのか？

注意点④: 書面審査の仕組みを理解したうえで、審査領域を選択する。

書面審査セットとは、書面審査を行うためのグループです。審査は、申請者の書面審査区分ごとに行いますが、適切な相対評価ができるように、関連する小区分を組み合わせでグループ化しています。

このように各書面審査区分（又は、小区分をグループ化したもの）に、6人の専門委員を割り当てたものを「書面審査セット」と呼んでいます。セット毎の専門委員については、専門分野のバランス、各審査員の所属機関が異なるようにすることなど、公平性に配慮しています。

合議・面接	審査区分			PD
	書面			書面審査セット
生物系科学	71分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野	43010	分子生物学関連	生物系科学1
		43020	構造生物化学関連	
		43030	機能生物化学関連	
		43040	生物物理学関連	
		43050	ゲノム生物学関連	
		43060	システムゲノム科学関連	
	72細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野	44010	細胞生物学関連	生物系科学2
		44020	発生生物学関連	
		44030	植物分子および生理科学関連	
		44040	形態および構造関連	
		44050	動物生理化学、生理学および行動学関連	
	73個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野	45010	遺伝学関連	生物系科学3
		45020	進化生物学関連	
		45030	多様性生物学および分類学関連	
		45040	生態学および環境学関連	
		45050	自然人類学関連	
		45060	応用人類学関連	
	74神経科学およびその関連分野	46010	神経科学一般関連	生物系科学4
		46020	神経形態学関連	
		46030	神経機能学関連	

〔例: PD 書面合議・面接審査区分が生物系科学の場合〕

例えば、小区分43010を選択した申請者は、小区分43020、43030、43040、43050、43060を選択した申請者と合わせた書面審査セットで審査されます。

審査に当たる専門委員の専門分野は、審査区分表を参照してください。

4. どのように申請するのか？

注意点④: 書面審査の仕組みを理解したうえで、審査領域を選択する。

審査区分を選択するにあたっては、申請者は、審査区分表（総表）を基に、審査区分の全体像を把握できます。さらに、審査区分の詳しい内容について、本一覧を確認の上、申請する審査区分を選択してください。

小区分の中には、複数の書面審査区分や書面合議・面接審査区分に表れているものがあります。複数の書面審査区分に対応している小区分は下表のとおり9つあり、このうち、複数の書面合議・面接審査区分に対応している小区分は8つあります。

また、小区分 90110～90150 の5つの小区分は、対応する書面審査区分は1つですが、それぞれ2つの書面合議・面接審査区分に対応しています。

【複数の書面審査区分、書面合議・面接審査区分に表れる小区分】

小区分	小区分の説明	対応する書面審査区分	対応する書面合議・面接審査区分
02090	日本語教育関連	12, 25	人文学, 社会科学
02100	外国語教育関連	12, 25	人文学, 社会科学
80010	地域研究関連	14, 22	人文学, 社会科学
80020	観光学関連	14, 23, 24	人文学, 社会科学
80030	ジェンダー関連	14, 22, 24	人文学, 社会科学
80040	量子ビーム科学関連	34, 35	数物系科学
90010	デザイン学関連	11, 53, 62	人文学, 工学系科学, 情報学
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連	12, 61	人文学, 情報学
90030	認知科学関連	26, 62	社会科学, 情報学
90110	生体医工学関連	90	工学系科学, 医歯薬学
90120	生体材料学関連	90	工学系科学, 医歯薬学

29

4. どのように申請するのか？

注意点④: 書面審査の仕組みを理解したうえで、審査領域を選択する。

書面審査項目（PD, DC, RPD）

- ① 研究者としての資質
- ② 着想およびオリジナリティ
- ③ 研究遂行能力
- ④ 総合評価

6人の専門委員が個別に審査し、最終的には6人の総合評価の平均点を参考に合議される。

①～③の項目評価は5段階の絶対評価。

総合評価は①～③の項目評価をもとに総合的に判断

総合評価（評点）は相対評価。

評点「5」…10% 評点「4」…20% 評点「3」…40%

評点「2」…20% 評点「1」…10%

30

4. どのように申請するのか？

注意点⑤: 人権の保護及び法令等の遵守への対応について

研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、**どのような対策と措置を講じるのかについても確認の対象となります**。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

申請書においては、上記のように法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか、また、対象となる研究について研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続の状況なども併せて具体的に記述してください。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

31

最後に

1) 1年後のリベンジ合格ありえます。

本学の採択者の多くが、過去に1度不採用となった経験があります。

第1次審査で不採用となった場合、不採用者の中に占める申請者の立ち位置がA・B・Cの3段階で示されます。この採点を参考に、1年後のリベンジに向けて研究計画の練り直しや研究業績を積み上げるなど準備を進めていきましょう。この努力の積み重ねが、1年後の採択に繋がります。

2) 若手研究者海外挑戦プログラムにも挑戦してみましょう。

3) 研究奨励奨学金とリサーチプロポーザルコンテストに出願しましょう。

申請書が特別研究員と同じ項目になっています。ぜひ合わせて出願してください。

* 申請時に博士課程後期課程（一貫制（3年次以上）、4年制含む）の方。

詳細は各募集要項をご確認ください。

32

問い合わせ先

大学院課（衣笠）

至徳館4階 Tel: 075-465-8195

担当：森山・関

Email: grad-sch@st.ritsumei.ac.jp

URL: http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/

<学振特設ページ>

http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/doctor/article.html/?id=39

<過去の採用者の申請書をご覧できます（4/5～5/31）> 複製・写真・持ち帰り禁止

衣笠キャンパス：大学院課（衣笠）

BKCキャンパス：大学院課（BKC）

OICキャンパス：学びステーション



33

電子申請における採用後の受入研究者および所属研究科等の名称について

電子申請の際に、「採用後の受入研究者」や「採用後の申請者所属研究科正式名/DC」、「申請者受入部局正式名PD/RPD」を記入頂く必要がありますが、部局の正式名称については資料を参照のうえ、正しくご記入ください。

【DC】 ※所属機関は立命館大学(34315)			
	①採用後の受入研究者		②採用後の申請者所属研究科正式名
	部局(コード)	部局種別	
法学研究科	法学(0024)	研究科	法学研究科
社会学研究科	社会学(0037)	研究科	社会学研究科
国際関係研究科	国際関係(学)(0041)	研究科	国際関係研究科
文学研究科	文学(0001)	研究科	文学研究科
先端総合学術研究科	先端総合学術(0986)	研究科	先端総合学術研究科
経済学研究科	経済学(0032)	研究科	経済学研究科
スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学(0186)	研究科	スポーツ健康科学研究科
理工学研究科	理工学(0053)	研究科	理工学研究科
情報理工学研究科	情報理工学(0731)	研究科	情報理工学研究科
生命科学研究科	生命科学(0138)	研究科	生命科学研究科
薬学研究科	薬学(系)(0078)	研究科	薬学研究科
経営学研究科	経営学(0033)	研究科	経営学研究科
政策科学研究科	政策科学(0028)	研究科	政策科学研究科
テクノロジー・マネジメント研究科	テクノロジー・マネジメント(2160)	研究科	テクノロジー・マネジメント研究科
人間科学研究科	人間科学(0019)	研究科	人間科学研究科
食マネジメント研究科	その他(9999)	研究科	食マネジメント研究科

【PD・RPD】 ※所属機関は立命館大学(34315)			
	①採用後の受入研究者		②申請者受入部局正式名
	部局(コード)	部局種別	
法学研究科	法学(0024)	研究科	衣笠総合研究機構
社会学研究科	社会学(0037)	研究科	衣笠総合研究機構
国際関係研究科	国際関係(学)(0041)	研究科	衣笠総合研究機構
文学研究科	文学(0001)	研究科	衣笠総合研究機構
先端総合学術研究科	先端総合学術(0986)	研究科	衣笠総合研究機構
経済学研究科	経済学(0032)	研究科	BKC社系研究機構
スポーツ健康科学研究科(※)	スポーツ健康科学(0186)	研究科	総合科学技術研究機構 または BKC社系研究機構
食マネジメント研究科(※)	その他(9999)	研究科	総合科学技術研究機構 または BKC社系研究機構
理工学研究科	理工学(0053)	研究科	総合科学技術研究機構
情報理工学研究科	情報理工学(0731)	研究科	総合科学技術研究機構
生命科学研究科	生命科学(0138)	研究科	総合科学技術研究機構
薬学研究科	薬学(系)(0078)	研究科	総合科学技術研究機構
経営学研究科	経営学(0033)	研究科	OIC総合研究機構
政策科学研究科	政策科学(0028)	研究科	OIC総合研究機構
テクノロジー・マネジメント研究科	テクノロジー・マネジメント(2160)	研究科	OIC総合研究機構
人間科学研究科	人間科学(0019)	研究科	OIC総合研究機構

(※)研究領域によって所属部局名が異なります。受入研究者と相談のうえ、いずれかをご記入ください。

「学振申請書作成講座」

日本学術振興会特別研究員 申請内容ファイル作成のポイント

総合心理学部 安田裕子

本日の流れ

1. はじめに 楽しみながら挑戦する—短期的展望・中長期的展望をもとう
 2. 評価者の立場から—研究の魅力をきちんと届けよう
 3. 申請内容ファイル作成の留意点—読み手を意識しよう
 4. 申請に向けて—このプロセスが力になります
-

1. はじめに 楽しみながら挑戦する—短期的展望・中長期的展望をもとう

☆ 研究を具体的に計画・構想する好機にしましょう。

-自分自身への励み&presentに

-研究費がついてくる

-研究を加速度的に進めることができる

個人研究・共同研究への動機づけ&価値づけ→国内外の学会等での発表機会の獲得→知見の深化・融合→豊かな仲間関係・ネットワーク形成→さらなる動機づけ・楽しさ・やりがい・幸福感 UP・・・

☆ キャリア展望をもとう（職歴になる→仕事として／生き方として）。

-どういう研究をしていきたいのか、研究者としてどうありたいのかを考える

2. 評価者の立場から—研究の魅力をきちんと届けよう

☆ 変更点が2点あります。1点目に、これまで第二次選考で行われていた「面接審査」に代わり、「書面審査及び合議審査」が導入されます。2点目に、研究者としての資質や将来性の評価により一層重点が置かれます（→申請書様式の抜本的な見直し）。

☆ 「研究遂行能力の自己分析」欄では、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入します。

☆ 評価は、もっぱら申請者個人に対してなされます。申請書の記載内容（研究状況、研

究計画、評価書）が総合的に判断され、申請者の研究能力や将来性などに着目して評価が行われます。

- ✧ ひとつの申請に対して複数人が評価を行い、それらを総合して書面審査の結果が出されます。近接異分野を含む研究者が申請書を短期間に多く読みます。研究の意義やオリジナリティなどの魅力を、端的に、わかりやすく、具体的に、存分に、届けてください。
- ✧ 書面審査は、①審査項目ごとの評価、②総合評価、③審査意見、により構成されます。①審査項目ごとの評価は絶対評価、②総合評価は相対評価、となります。①審査項目ごとの評価をベースに、②総合評価がなされます。もともと、①＝②ではありません。
- ✧ 書面審査による評価は、①「研究計画の着想およびオリジナリティ」、②「研究者としての資質」について、それぞれの項目に対して、絶対評価により5段階の評点（5：非常に優れている、4：優れている、3：良好である、2：普通である、1：見劣りする）を付します。最終的に、上記の各項目の点数を踏まえて、総合的に研究者としての資質及び能力を判断した上で、書面審査セット内での相対評価により5段階の評点（5：採用を強く推奨する、4：採用を推奨する、3：採用してもよい、2：採用に躊躇する、1：採用を推奨しない）を付します。
- ✧ ②総合的な評点は相対評価ですので、審査者は研究課題全体としての評価を、担当する複数の審査書類を通して、比較の観点をもって行います。また、上で述べた通り、①＝②ではありません。したがって、研究課題全体としての独創性や新規性をきちんと打ち出す、不明瞭な点を残さないことが重要です。
- ✧ 研究計画が不明瞭になりがちです。地に足がついた実現可能な研究計画を立てることが重要です。研究の停滞・うまくいかない場合の代替措置、予想しにくいことも含めた問題の解決策という観点も可能な限り盛り込んで、具体的に記述してください。
- ✧ 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」に関し、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置が講じられているかの確認がなされます。「該当しない」場合はその旨記載しましょう。

- ✧ 研究の実行・実現可能性（具体性・安全性・確実性）、探究したいことのおもしろさや新しさ・オリジナリティの増分、研究への熱意、未来に拓かれうる研究や研究者としての展望・可能性を、書面で明確に表現して審査者に届けてください。

**この研究課題をぜひやってほしい！この若手研究者にぜひがんばってほしい！
と思わせてください。**

3. 申請内容ファイル作成の留意点—読み手を意識しよう

- ✧ 審査者にいかにわかってもらえるか、ということに意識的になりましょう。
- ✧ 記載すべき項目の冒頭に記されている指示文に忠実に、論を展開していきましょう（指示文はガイドでありヒントである）。
- ✧ 段落構成と意味のまとまりを意識して構造化し、適宜、見出しをつけて表現しましょう。
- ✧ 図表を効果的に用いましょう。
- ✧ 字体によるメリハリ、太字やアンダーラインなどを活用し、大事な部分を強調しましょう。ただし、飾りが多いとわかりにくくなりますので注意してください。
- ✧ 指示文に応えられているかを、他者の目を通しつつ、繰り返し確認しましょう。

2.【研究計画】※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

(1) 研究の位置づけ

これから取り組む研究計画により焦点化

自身の研究成果も位置付けて

特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

(2) 研究目的・内容等

・どんなことを、いつ、どのように(成果発信・社会への還元を含めて)※具体性・実行可能性を明確に

① 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。

④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

(DC)／共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。(PD)

⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む。)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

同/異分野融合、グローバルな視野

(3) 受入研究室の選定理由※各事項の字数制限はありませんが、全体で1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。(PD)

採用後の受入研究室を選定した理由について、次の項目を含めて記入してください。

① 受入研究室を知ることとなったきっかけ、及び、採用後の研究実施についての打合せ状況

② 申請の研究課題を遂行するうえで、当該受入研究室で研究することのメリット、新たな発展・展開

※ 個人的に行う研究で、指導的研究者を中心とするグループが想定されない分野では、「研究室」を「研究者」と読み替えて記入してください。

3. 人権の保護及び法令等の遵守への対応 ※本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

本欄には、「2. 研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

4.【研究遂行力の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

・下記(1)及び(2)の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。

なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。

(1) 研究に関する自身の強み

・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物(論文等)も適宜示しながら強みを記入してください。

成果物(論文等)を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。

(例) 学術論文(査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。)

著者、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁ー最終頁、発行年を記載してください。

(例) 研究発表(口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。)

著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。(発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。)

(2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素

5.【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」を記入してください。

（例1）文章による構造化の一例—階層構造を明らかにする

【研究の位置づけ】

これまでに得られた研究結果として、次のことが挙げられる^{業績2) 4) 7) 12) 13) 15) 32)}。

1. 経験と選択経路の可視化、ならびに心理社会的支援の提示：

(1) 不妊夫婦の子どもをもつ選択経路を、不妊治療と養子縁組という社会システムへの関わり方から捉え、治療をする選択・・・指摘した。

(2) 生涯発達の観点から、不妊当事者への実践的な心理社会的支援を検討した。

① ＜不妊治療を始める段階での支援＞情報提供と心理教育による選択支援：・・・重要である。

②

③

2.

- ☆ 当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯を明らかにするうえで、自分自身の研究成果も位置づける。
- ☆ 必要に応じて見出しを付ける。見出しは、「体言止め」（名詞で終わらせる表現技法）を用いるなどにより、メリハリをつけるなど工夫して整えつつ、要点を明確に打ち出す（例2へ）。

（例2）文章による構造化の一例—見出しを用いて端的に示す

【研究の位置づけ】

・・・・・・次の4つの理論的成果が産出された。

1. 分岐点での変容を捉える視点：

2. 不定（uncertainty）を捉える視点：

3. ナラティブ・プラクティス／臨床的支援との接合：

4. 多声的な自己と場の変容：

【研究内容】

上記を踏まえ、次の3つを導入し、・・・を推し進める。

1. （形態）維持という視点（上記1 2より）：

2. 関係性・集団というシステムの単位（上記4より）：

3. キャリア教育・支援への適用と実践現場への還元（上記3より）：

（注意点）

・強調しすぎ？ 何が重要かわからなくなるように印刷し、見え方を要確認

- ☆ 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について、どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入する。
- ☆ 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのかを明確に記述する。

（工夫）
・これまでの到達点とこれまでの研究内容の具体的な明示
・対応関係を明確にしたうえで、の論展開

（例3）文章による構造化の一例—立体的に記述する

【研究目的】

時間とともにある当事者性に留意して、1. 援助者へのインタビューから、精子・卵子・胚の提供による非配偶者間の不妊治療における心理社会的支援を、2. 心理臨床的フィールド実践により、生殖補助医療と周産期医療と心理臨床の接合可能性を検討し、生殖補助医療の進歩を踏まえた支援について考察する。また、3. 援助者の関わりを、当事者の生殖と家族形成にまつわるライフの分岐点として想定し、分岐点における援助者介入理論としての、臨床に役立つTEMの理論的・方法論的精緻化を進める。

【研究方法】

1. 【**実践的検討**】援助者へのインタビュー調査から：養子縁組の活動に従事している援助者、ならびに卵子の提供による不妊治療に従事している援助者を対象に、関わる複数の当事者にいかなる配慮をもって援助を行っているのかについて、インタビュー調査を行う。
2. 【**臨床的検討**】心理臨床的フィールド実践を介して：治療で受胎した場合、その後は不妊治療専門施設から産科に転院することが多い。一方で、たとえ治療で子どもをもったとしても、不妊に伴う苦しさの経験を乗り越えることと子どもができた経験とは異なり、不妊である身体も傷ついた心も変わらない場合がある（松島, 2003）ことを踏まえれば、受胎した後を含めて支援の環境を設定する必要性が認識される。産前産後のうつと不妊経験との直接的な関係への言及は申請者の専門性を越えるが、そもそも生殖は女性のメンタルヘルスにおけるハイリスク期である。不妊の問題特性を受胎したか否かという論点に収斂させることのない視点をもって、受胎した後の心理臨床的支援の環境を整備することが、妊娠・出産や養育に直接関わる女性とその子どもの、その後を含めたライフの質を考えるうえで重要である。
3. 【**理論的・方法論的検討**】協働的な学びを通じて：分岐点は、複数の当事者のライフの交差点であり、不定な状況でありつつも変容可能性に開かれている。分岐点を基軸にした各当事者の歩みの来し方と行く末を時間経過に沿って捉えてこそそこでの適切な介入の検討が可能となる。共同研究を含めて進める。

＜意味のまとまりとして積み上げ、構造化する＞

- ✧ ひとつの文章で何を言わんとしているのかを確認する。
・主語-述語の関係は適切か。
・一文が長すぎないか。
- ✧ 各段落、各節で何を言わんとしているのかを確認する。
- ✧ 接続詞を効果的に用いる。
- ✧ 複数の研究目的について、研究方法との対応関係を整理する。
必要に応じて階層構造を整える（例1）。
- ✧ 専門用語は、当該分野で通常使用の用語でも簡潔に説明する。

＜体裁を整える＞

- ✧ フォーマット（枠）を変えてはいけない。紙面の制約をいかに。
- ✧ 誤字脱字は100%なくす。語句や記号（「」「」）の統一性を確認する。
- ✧ プリントアウトして、見え方を確認しましょう（画面と紙面では見え方が違う。白黒で表現しきる）。

（例4）表による構造化の一例—具体的に研究計画を見せる

表 研究計画

		インタビュー調査の対象	
		福祉・心理側からのアプローチ	司法側からのアプローチ
		NPO 法人等民間支援団体	左記の連携先関連諸機関
○ 年度	4-6 月	【4 月】インタビュー調査準備 【5-6 月】調査 3 件実施 データ整理・分析	【4 月】インタビュー調査準備 【6 月】調査 1 件実施 データ整理・分析
	7-9 月	【7-9 月】調査 4 件実施 データ整理・分析	【8 月】調査 1 件実施 データ整理・分析
	10-12 月	【10-11 月】学会発表	【10-11 月】学会発表
	1-3 月	【2 月末】データとりまとめ 【3 月】次年度に実施する インタビュー調査準備	【2 月末】データとりまとめ 【3 月】次年度に実施する インタビュー調査準備
○ + 1 年度	4-6 月	【4-6 月】調査 3 件実施 データ整理・分析	【4-6 月】調査 2 件実施 データ整理・分析
	7-9 月	【7-9 月】調査 4 件実施 データ整理・分析	【7-9 月】データとりまとめ
	10-12 月	【10-11 月】データとりまとめ、学会発表、シンポジウム開催準備 【12 月】福祉・心理と司法をむすぶシンポジウムの開催	
	1-3 月	【3 月上旬】報告書の作成完了ならびに配布	

☆ 誰（何）を対象に何をするかを、タイムスケジュールとともに記述し、具体性・実行可能性を示す。

（例5）図による構造化の一例—当該研究内容の全体像に本研究課題を位置づけて見せる

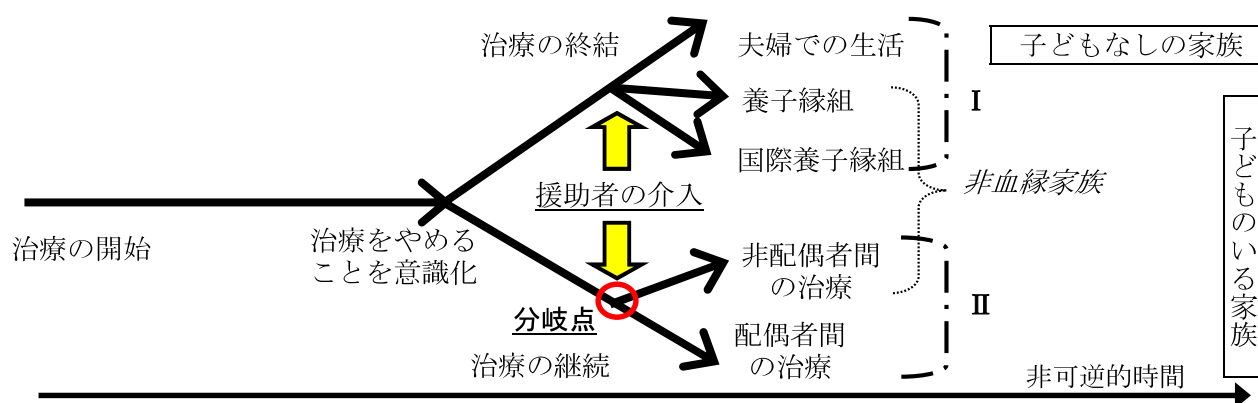


図 不妊夫婦の家族を築く選択経路

☆ 研究課題を図に位置づけて理解を促す。図を端的に説明することも併せて。
☆ 印刷して、要点をきちんと伝えることができているかを確認する（カラーで表現したつもりでも、濃く塗りつぶされているなど読みにくくなっていることがある）。

(例6)「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄の一例—研究前・中・後を意識して

・・・最初の段階で、所属の倫理委員会に本研究ならびに本調査に関する申請を行い、調査内容については倫理委員会の審査を通過するまで精査する。そして調査時には、研究協力者に説明を入念に行い、同意ならびにその利用に関する事前承諾を書面で得る。また、調査で得られた具体的な事例の報告や執筆に際しては、個別対応による確認の後、改めて承諾書を作成し書面での了解を得る。調査時と報告・執筆時にはタイムラグが生じるため、必要に応じてその旨を明示し、時間経過を含みこんだ当事者性への十全な配慮を欠かさない。なお、インタビューの音声データ及び音声データを文字に起こした紙媒体は、鍵のかかる備品庫等で厳重に保管する。研究期間中は終始、個人が特定されないための情報管理に留意し、執筆に際しては、成果の産出に必要な否かを常に精査しながら、不要な個人データをむやみに公開しない、記述する場合は対象者の特定を避けるべくデータに一部改変を加える等の対応を徹底する。

また、研究会での報告者に対し、回収が必要な臨床事例等の記載がある配布資料については、ナニバリング管理する等により、研究会終了後の回収ならびにその確認を、確実に行う。・・・云々

- ◇ 研究内容の説明、自由意思による参加、利益相反、精神的苦痛の発生の有無と対応、個人情報保護、データ保管の方法や場所・破棄の時期、成果の公開・・・
- ◇ (参考) 立命館大学 研究倫理 <http://www.ritsumei.ac.jp/research/approach/ethics/>
チェックシートや申請書から、研究倫理の要点をとらえることができる。

(例7)「研究遂行能力の自己分析」欄の一例

(1) 研究に関する自身の強み

学融合的協働により研究を推進する実行力と持続力：ライフとキャリアをとらえる TEA の展開—編著書〇冊の刊行、協働的な研究活動推進基盤の確立と成熟／・・・安田は生涯発達心理学と臨床心理学を専門とする。ナラティブ・アプローチによりとらえた当事者経験を質的に分析し、援助に接続させる志向性のもと研究を蓄積してきた。TEM の手法を初めて論文執筆に用い¹、不妊に悩んだ女性の人生(ライフ)の物語と選択経路に関する知見を、生涯発達の視点を組み入れ産出した^{2,3}。そして、〇〇とともに、TEM を開発・・・する過程で、その特徴や意義を TEM 三部作と銘打つ著書にまとめ^{4,5,6}、・・・TEM/TEA 研究会を開催し、また講習会などの依頼を受け、TEA の研究への適用可能性について検討を重ねてきた。学会では、シンポジウムなどによる発表・・・、チュートリアル形式で教育講座・・・、協働的な学びの機会を多数提供してきた^{9,10}。・・・研究のみならず実践に活用する可能性を掘り起こし・・・

〔これまでの研究活動の成果物〕

1. 安田裕子、不妊という経験を通じた自己の問い直し過程—治療では子どもが授からなかった当事者の選択岐路から、質的心理学研究、4、201-226、2005 年

- ◇ 研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入する。観点を項目立てするなど、適宜工夫する。
- ◇ これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物(論文などについて、当該文献などを同定するうえで十分な情報)も適宜示しながら、具体的に明記する。
※例示は、「強み(体言止め+ゴシック体)：達成・成果(体言止め+明朝体)／説明(文章+明朝体+引用)」の組み合わせにより工夫。
- ◇ 強みと弱みは裏腹である。強みとして、しっかりと明示する。

（例8）「目指す研究者像等」欄の一例

（1）目指す研究者像

〇〇は、向き合うべき課題に対して持続的に丁寧かつ果敢に取り組む、実直で気鋭な姿勢と実行力をもつ研究者である。それは次のことにも表れている。（例示）

こうした申請者の強みは、□□（学問領域、専門性など）に関する研究者として成長していくうえで必要と考えられる・・・を培う基盤となるものであり、こういった強みと今後培うべき・・・の資質を総合して、☆☆という特長ある研究者を目指すものである。すなわち、1)・・・、2)・・・、3)・・・といったことを目標とする申請者〇〇の将来性には、□□の研究者としておおいに期待がもたれる。

※ 1) 2) 3) は多面的に記述する（たとえば、教育、学会、社会活動、など）。

- ◇ 我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資するという目的に鑑み、（1）「目指す研究者像」、（2）「目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」を記述する。
- ◇ （1）「目指す研究者像」は、言葉が上滑りしないように、研究遂行力の自己分析、すなわち、研究に関する自身の強み（現在）、今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素（未来）を端的にまとめ、それらを踏まえたうえで述べるとよいと考える。
- ◇ （2）「目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」に関しては、（1）と本申請書の研究計画を関連づけるかたちで記述することにより、申請内容全体の説得力を高めることができる。

4. 申請に向けて—このプロセスが力になります

- ◇ 時間とエネルギーをしっかりと注いで、粘り強く書きかえを重ねましょう。
- ◇ 研究課題と研究者としての自分自身の魅力を、読み手にわかりやすく届けることができるかを、十分に確認しましょう。
- ◇ 仲間と励まし合って進めていきましょう。他者の目を通すピアレビューの機会をつくりましょう。
- ◇ このプロセスは、これまでやってきた研究の要点を整理し、これから行う研究の構想を明確にする機会となり、今後のキャリアをかたちづくる重要なステップになります。また、論理的に考える力、文章構成力などを育てることにもつながります。
- ◇ これまでの蓄積を信じて、短・中長期的未来を思い描き、楽しみながら、進めていきましょう。

日本学術振興会特別研究員の 採用に向けて —体験談—

立命館大学大学院 生命科学研究科
博士課程後期1回生 生物有機化学研究室
廣瀬 光了



1

自己紹介

- 申請資格：DC1（面接免除）
- 書類合議・面接審査区分：化学
- 書面審査区分：生体分子化学およびその関連分野
- 専門分野：生物有機化学
- 研究課題名：「生体外における酵素反応場の作製による会合体形成過程の解明」

まず、はじめに。。。。

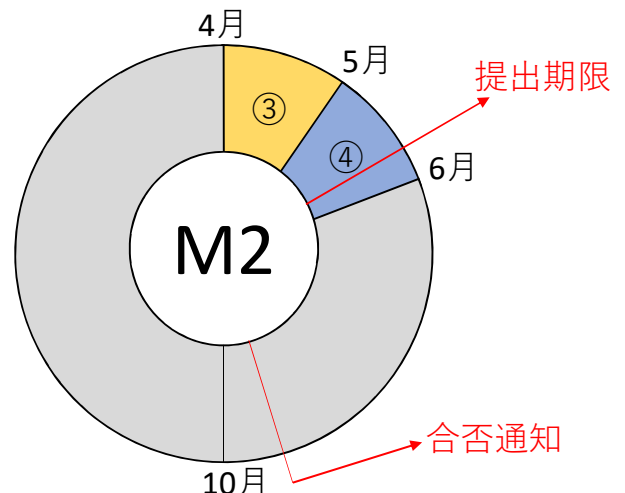
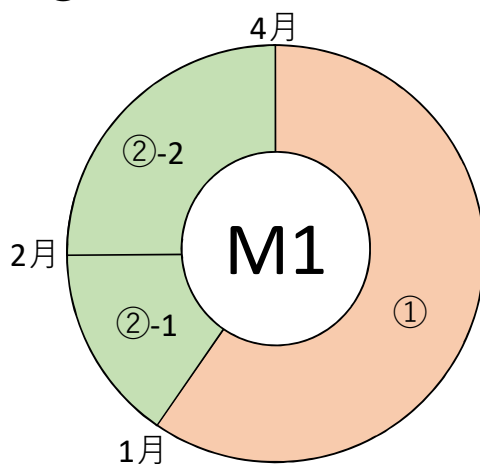
なぜ、学振に応募しようと思ったのか？

- ・ 研究室の博士課程の先輩たちが応募していた。
- ・ 博士課程での研究生活を、より有意義にしたい。

学振に採用されてから、振り返ってみて
何の要因が大きかったのか？

申請書提出に向けての準備

- ①申請書を書く前に行ったこと
- ②申請書を書くときに気を付けたこと
- ③申請書を見もらう
- ④申請書の仕上げ



①申請書を書く前に行ったこと

- 学会や研究会、セミナーに参加
研究結果の議論
 - 論文の執筆
自分の研究の背景を考える力
論理的な考察を行う力
 - 研究を行う上での目的
この研究の狙いは何か？
- 研究業績
- 研究計画

②-1. 申請書を書くときに気を付けたこと

- 過去の採択者の資料の閲覧
(あわせて過去の不採択者の資料の閲覧)
- 申請書を埋めていく
(埋めれるとこだけ：研究業績、研究背景、自己アピールなど)

②-2. 申請書を書くときに気を付けたこと

- 申請書をすべて埋める
研究計画の一貫性
研究遂行能力 ←研究業績を上手く利用
- 論文を読む
研究計画の内容を支える証拠 ←Referenceを付ける
研究計画のアイデア

③申請書を見てもらう

- 研究室の先輩からコメント
本筋の修正・訂正の繰り返し
読みやすい申請書 ←書類を見た瞬間の印象
頭に入ってきてやすい文章
- 先生からコメント
表現方法や具体例など詳細な部分の修正・訂正
- 研究室の教授からコメント
誤字・脱字・イメージ図など（＊推薦状の依頼）

④申請書の仕上げ

- ブラッシュアップ
表現法や強調部分の修正・改善
- 誤字・脱字
文章の繋がり・接続詞の見直し
- 図の修正・改善
インパクト・見栄え・的確さ

申請書を書いている時に苦勞したこと

- 研究の独創性と新規性を明確に分離する
(独創性≠新規性)
- 新たな研究テーマを考えること
- 研究計画に一貫性をもたせること

採択されて思ったこと

- 環境要因◎

コメントして下さる先生や先輩がいた
過去の(不)採択者の資料があった
論文の執筆をさせてもらえた
学会に参加させてもらえた

- 運

学振の申請書類を提出する同期

- 自分自身の能力

研究を考える力・文章力（違和感に気付ける力/客観視）

学振 募集・書き方ガイド

スポーツ健康科学研究科 博士課程過程後期課程1回生
井上 健一郎

自己紹介

略歴

立命館大学 スポーツ健康科学部 （2回生の時に研究活動を始める）
スポーツ健康科学研究科 博士課程前期課程
スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程（現D1）

学振申請

申請資格：DC1

書面合議・面接審査区分：医歯薬学

書面審査区分：社会医学、看護学、スポーツ科学、体育、健康科学
およびその関連分野

専門分野：運動生理学

研究課題名：運動による心血管疾患の発症リスク低下にマイオカイン：
irisinが及ぼす影響

応募した理由

- ◆研究を始めた時から、目標だった（研究室の先輩方が採用されていたので、自然に意識していた）



- ◆生活していくため

- ◆研究者としてのアピールポイントになる



申請書作成に向けて実施したこと

① 情報収集（3月）

- 募集要項の確認・応募方法・作成の要領など（自分で調べる＋先輩に聞く）
- 過去の応募書類を集める（5人くらい）→書き方を学ぶ、迷ったときの参考にする

② 指導教員と進め方・方向性を打ち合わせ（3月中旬～4月上旬）

- 自分のやってきた研究を踏まえ、博士課程で実施する研究内容のアイデアを出す
- 実績と今後の研究課題のつながりが重要



文献研究→考える→打ち合わせ・意見をもらう 繰り返し

③ 文献研究（3月中旬～4月上旬）

- 研究アイデアにどれくらい新規性があるのか、面白いと思ってもらえる研究なのか
- 研究方法を決める（生理・生化学的な測定方法、動物モデルなど）

申請書作成に向けて実施したこと

④書けるところから、とりあえず書く（4月中旬～5月上旬）

- ・あまり時間をかけずに、一通り書く

⑤たくさんの人（5～10人くらい）に見てもらい、修正を繰り返す（5月上旬～5月下旬）

- ・専門外の人にも見てもらおうとどこがわかりにくいのか、明確になる

⑥最終チェック（5月下旬）

余裕をもって、
納得できる申請書を！



工夫した点

- ◆ 研究の面白さ、新規性をわかりやすく、端的に表現する
- ◆ 今までの研究とのつながりを意識（今までの研究を踏まえて、今後何をするのか）→業績欄で、今まで身に付けた測定技術や知識を活かせることをアピール
- ◆ 概念図でわかりやすく
- ◆ とにかく先生、先輩、後輩に見てもらおう！

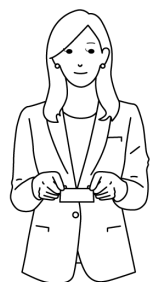


日本学術振興会特別研究員 申請・書き方ガイダンス

文学研究科 博士後期課程3回生
濱野 未来

■ 自己紹介

- 申請資格：DC2
- 書面合議・面接審査区分：人文学
- 書面審査区分：思想、芸術およびその関連分野
- 小区分名：科学社会学および科学技術史関連
- 専門分野：歴史災害
- 研究課題名：
地震認識の変遷にみる災害対応と中近世日本



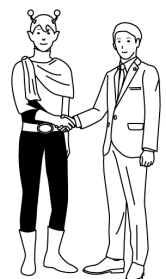
おはなしする内容について

具体的な書き方や注意点は説明があるとおもうので...

「**申請書を書くためにしていたこと**」を
分析編と仕込み編にわけてお伝えします
(特に人文系や**DC2**に申請する方に向けて)

1. 分析編 | **DC1、DC2 (1回目)** を経て...

- 学振採用は**マッチングに依る部分が多い**と実感
審査員の専門との合致、好みや運による部分も？
自分ではいじれないパラメータ...
- でも、マッチング率を上げることはできそう
- そのためにできることは？
⇒ まずは自分と相手の分析を試みよう



1. 分析編 | 自己分析

自分の研究とその評価を分析する

- 前年度の申請書の評価：どの項目も平均点...
- 審査区分や研究方針はマッチしていそう
- DC1申請時よりは業績も増やせた

⇒ 研究のインパクトや魅力が足りない？
そもそも伝わっていない？



The Power of PowerPoint - thepopp.com

5

1. 分析編 | 審査員・分野分析

審査員を具体的に想定する、分野の傾向を分析する

(業界研究・企業研究に近いかも)

- どんな専門の人が読みそうか
- その専門・分野にはどんな研究が多いか
- 専門・分野全体の学問的な課題はなにか？
- どれくらい申請書をみる？どこをみてる？

⇒ 審査員に則した・配慮した内容になっていたか？



The Power of PowerPoint - thepopp.com

6

1. 分析編 | 課題と方針

- インパクトや魅力が足りない？伝わっていない？
- 想定する審査員に則した内容になっていたか？
- ⇒ 研究の魅力・強調したい部分など、
もっとメリハリをつけよう（内容＋見た目）
- ⇒ より読んでもらえる、読んですぐにわかる
書類にしよう（見た目）



The Power of PowerPoint - thepopp.com

7

2. 仕込み編 | 脳内イメージ→文章化のために

いきなり申請書を書ける！ならいいのですが...
申請書の形にする前にまずは文章化＝仕込み
そのためにしていた3つのこと

- ① 書くために書く
- ② 書くために描く
- ③ 書くために話す



The Power of PowerPoint - thepopp.com

8

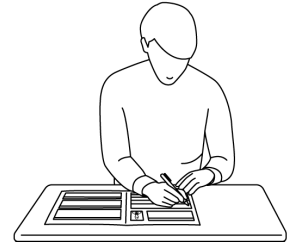
2. 仕込み編 | ①書くために書く

■ 申請書に関することをとにかく書き出す

やりたい研究、なぜそれがやりたい？、なぜやるべき？
先行研究は網羅できている？などなど...

■ マインドマップが個人的には◎でした

列挙する、とにかく書きなぐるでももちろん◎
手書きでも、PCでも、音声でもよいかもしれません



⇒研究に対する思考を深められた、研究の具体性UP

2. 仕込み編 | ②書くために描く

■ 自分の研究の概念図を描いてみる

研究全体でも、核となる部分や強調したい部分だけでも○

■ 研究のスライドをざっくりつくってみる

文章に頼らないので、要らない部分が捨象される
全体の流れを俯瞰できる



⇒研究内容の核・魅力、伝わりやすい形がわかった

文系（特に人文系）は図式化が難しいですが、
分かりやすく、読みやすくなるのでおすすめです
研究をどうパッケージすればいいかという視点で描くと◎

2. 仕込み編 | ③書くために話す

■ ①②を基に色々な人に内容を聞いてもらいました

同期・先輩、指導教授以外の先生、専門が遠い人などなど
専門が近いからこそ気になる点や、遠いからこそ分かりにくい点が判明
題目も忘れずに！

■ お互いの研究について話し合うのも◎

ブレインストーミング的な感じでやるのもよいかも
「他人に話す」と同時に「他人と話す」のが◎



⇒思わぬ落とし穴や、意外な魅力が見つかった

伝わりにくいのは内容か？見せ方か？が明確に

The Power of PowerPoint - thepopp.com

11

仕込みから醸造へ

①～③を繰り返しつつ、

文章化しては申請書を書き、

書いては読んでもらうの繰り返し

完成状態でなくてもどんどん見せる

完璧より完了、完成品よりプロトタイプで

⇒だんだんよくなってくるのがわかるとたのしくなる



The Power of PowerPoint - thepopp.com

12

■ そのほか効能◎だったもの

■ 読む時は声にだして

誤字脱字や文法・体裁の乱れは、内容を妨げるノイズに
黙読だと意外とミスを見逃してしまうので声に出すと◎

■ やさしい見た目を心がける

膨大な申請書を読まなければならない人の気持ちに...
フォント、行間、行頭、強弱などなど
特に余白は少し変えるだけで随分印象が変わります
作成するのは「申請書」であって「研究内容」ではない
という心づもりで

■ おわりに

学振は「よさげな武器」的な感じ
あったら攻略が楽になるものくらいの認識で

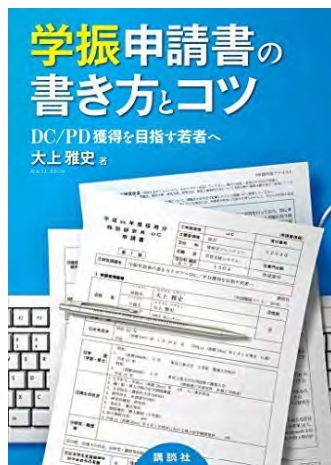
「なったらうれしいな」という感じで気楽に
まずは動いてみると、いいこといろいろです



おまけ：参考になった文献

大上雅史

『学振申請書の書き方とコツ DC/AP
D獲得を目指す若者へ』講談社、2016年



- とても基本的な内容ですが、当たり前のことがちゃんと書いてあることほどありがたいことはないので、読んで損はないと思います。
- 教科書としてもっておくと、忘れていた当たり前をいつでも思い出せます。
- 実際の申請書の事例が載っているのもありがたいですが、理系や社会科学系が多いです。
- 著者の方の学振申請書についてのスライドもWEB上にアップされています。

The Power of PowerPoint - thepopp.com

15

おまけ：参考になった文献

高橋佑磨, 片山なつ

『伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール』技術評論社、2016年



- 読んでもらうための書類の見た目づくりに参考になりました。
- 申請書に限らず、普段のレジュメやレポート、スライドづくりにも役立ちます。
- 申請書の書式が変更になりましたが、レイアウトのルールに基づけば、作成しやすいとおもいます。
- 公式サイト (<https://tsutawarudesign.com>) にも簡単なまとめが載っています。

The Power of PowerPoint - thepopp.com

16